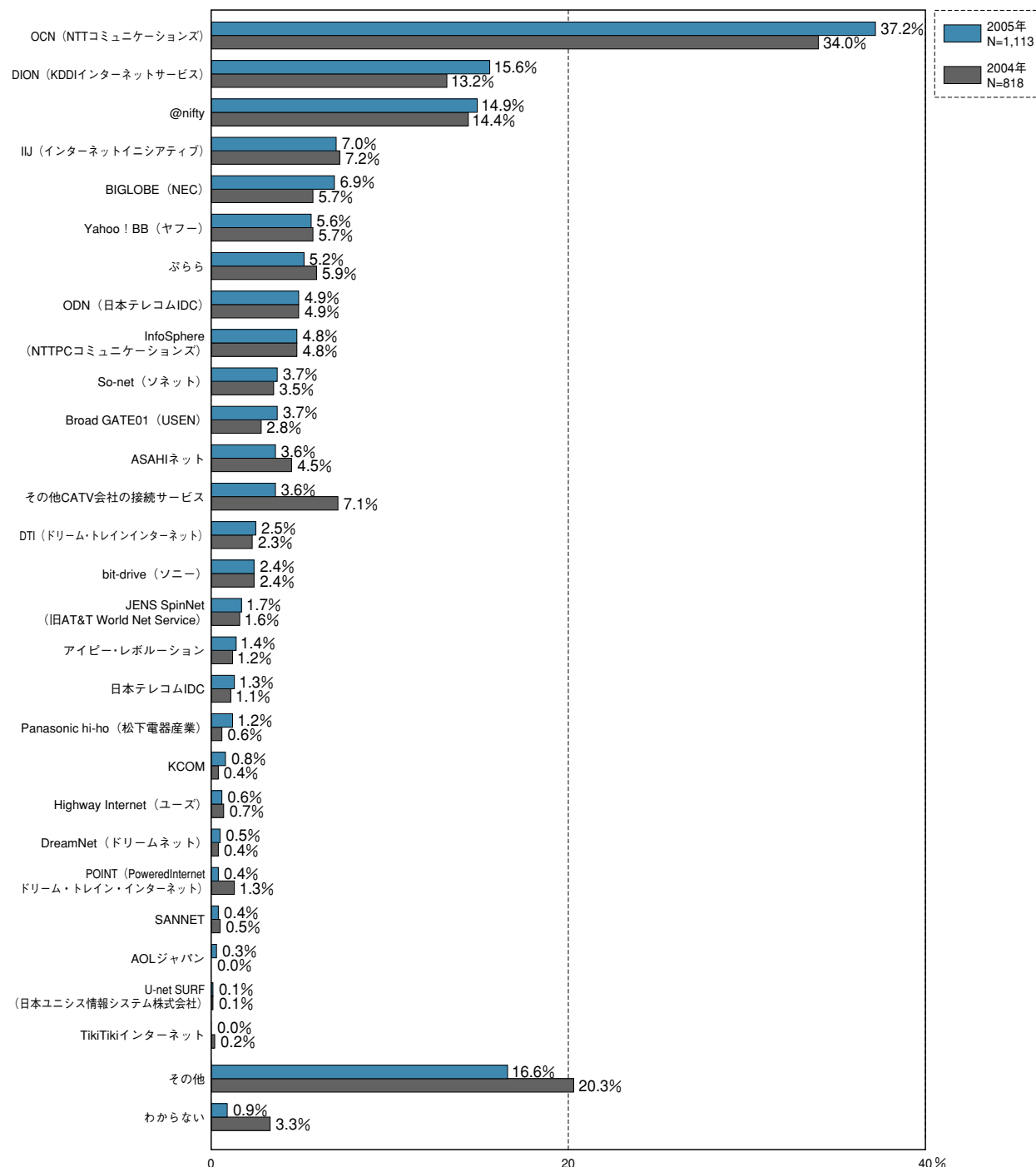


法人向けISP

ISPは昨年同様NTTコミュニケーションズが1位

資料3-1-13 企業が契約しているISP (2004年-2005年) (複数回答)



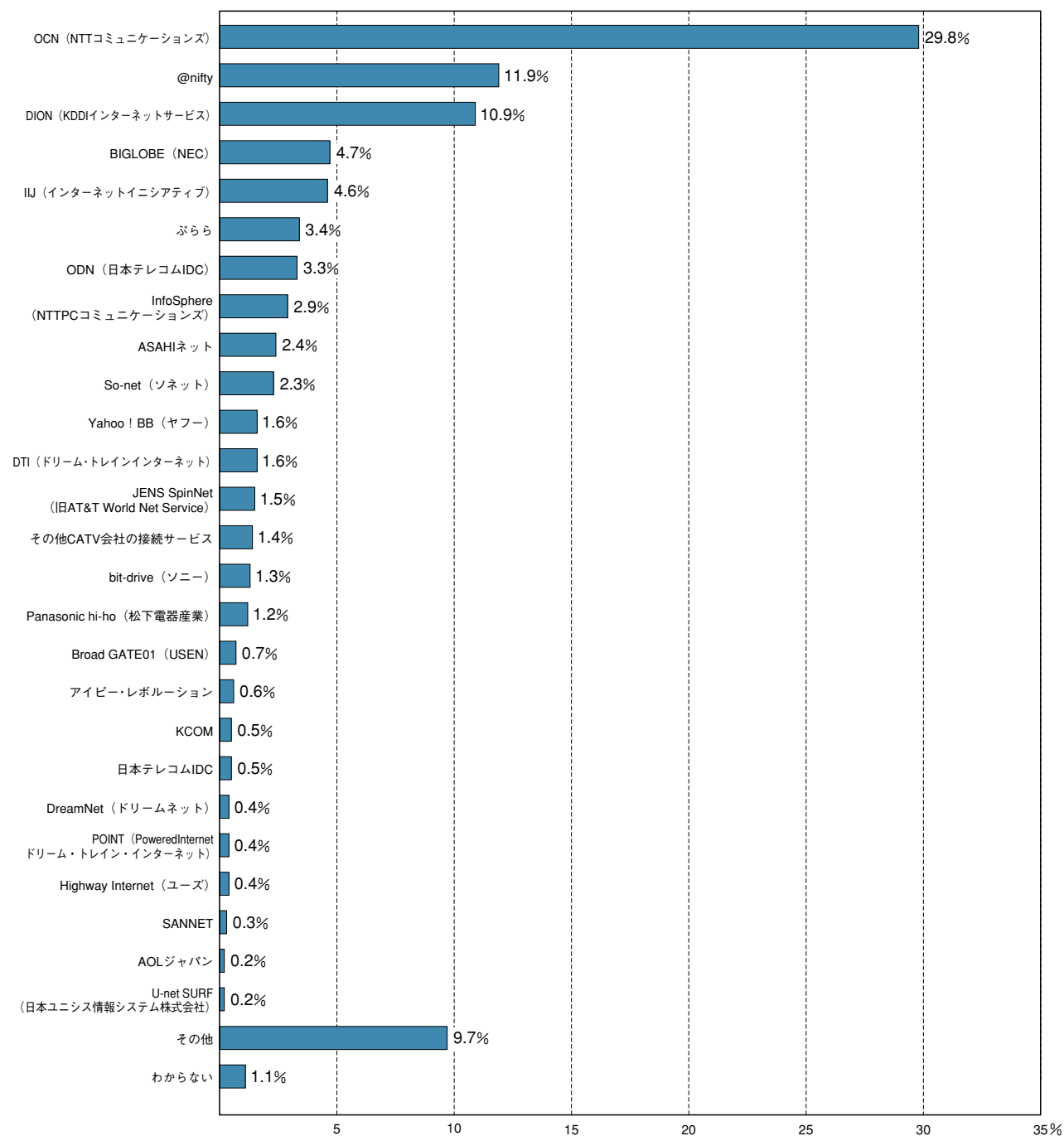
企業が契約しているISPは昨年とほぼ同様の結果で、利用ISPの定着率が高いといえる。「OCN」が37.2%と最も高く、「DION」、「@nifty」と続く。企業の平均ISP契約数は1.48で、従業員規模別で見ると、「100-499人」で1.60、「500-999人」で1.73と高く、中～大規模企業で複数ISPの契約率が高いことがわかる。

©Access Media/
impress,2005

法人向けISP

契約しているISPは「OCN」が3割を占めトップ

資料3-1-14 企業が契約している最も主要なISP（単一回答） N=1,113



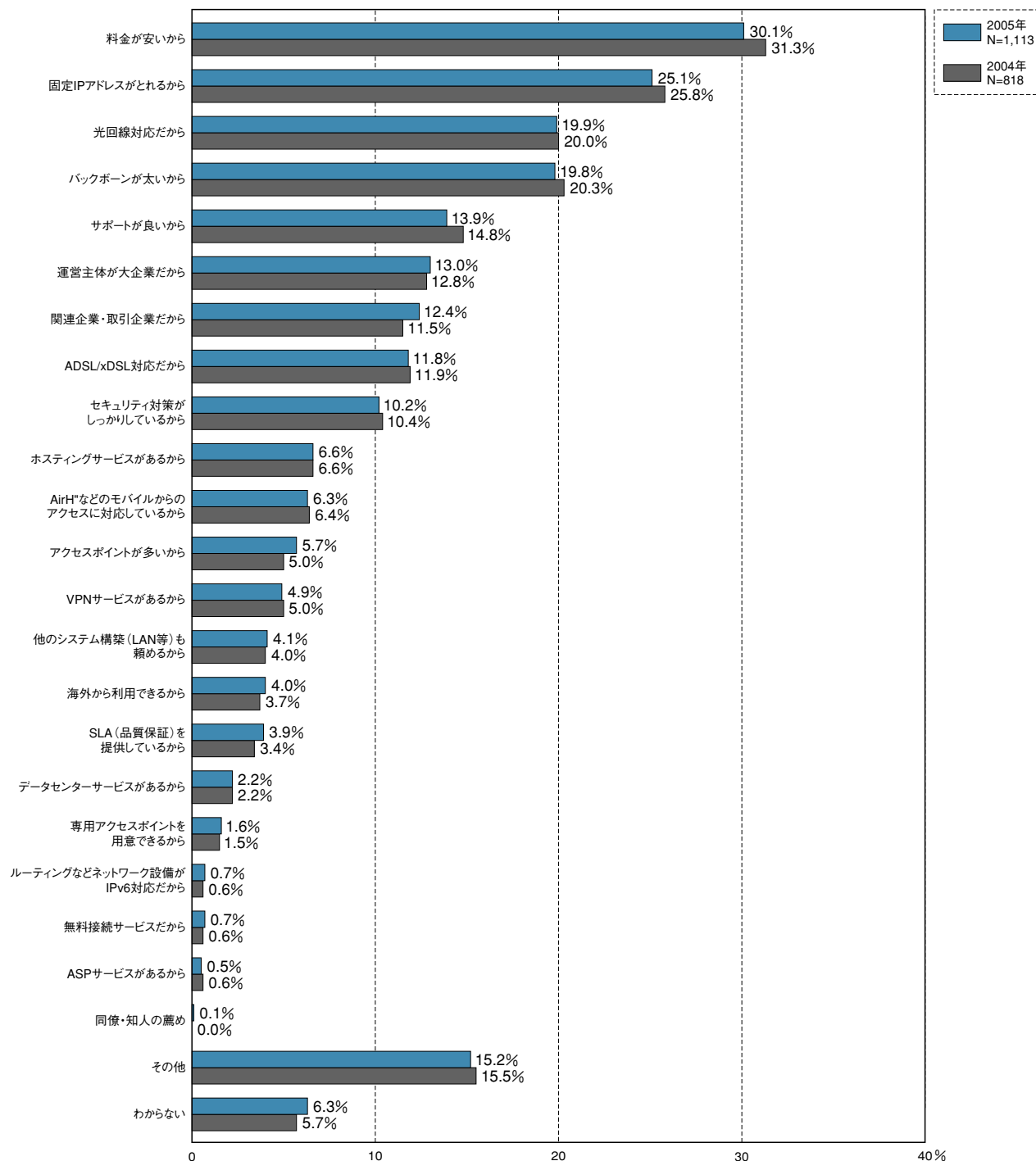
最も主要なISPのトップは「OCN」で29.8%。複数利用では3位であった「@nifty」が単一回答では2位となっている。3位はDION、4位のBIGLOBE、5位のIJと続く。

©Access Media/
impress,2005

法人向けISP

大企業のISP選択理由はセキュリティ対策の充実

資料3-1-15 ISPの選択理由（2004年-2005年）（複数回答）



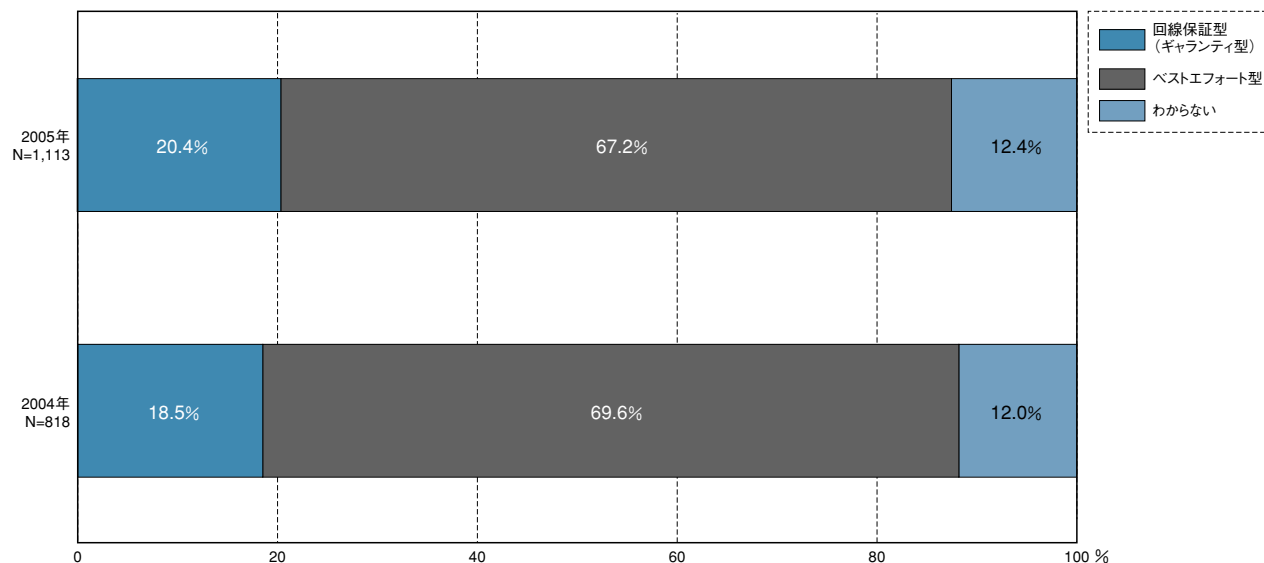
ISPの選択理由は、昨年と同様「料金が安いから」がトップにあげられており、コストへの関心は相変わらず高い。また、「固定IPアドレスがとれるから」、「光回線対応だから」、「バックボーンが太いから」といった安定性を重視した理由も見られる。従業員規模別は、大企業で「セキュリティ対策がしっかりしているから」の支持率が高い。

©Access Media/
impress,2005

法人向けISP

安さを理由にベストエフォート型が人気

資料3-1-16 契約回線の種別 (ベストエフォートとギャランティ) (2004年-2005年)

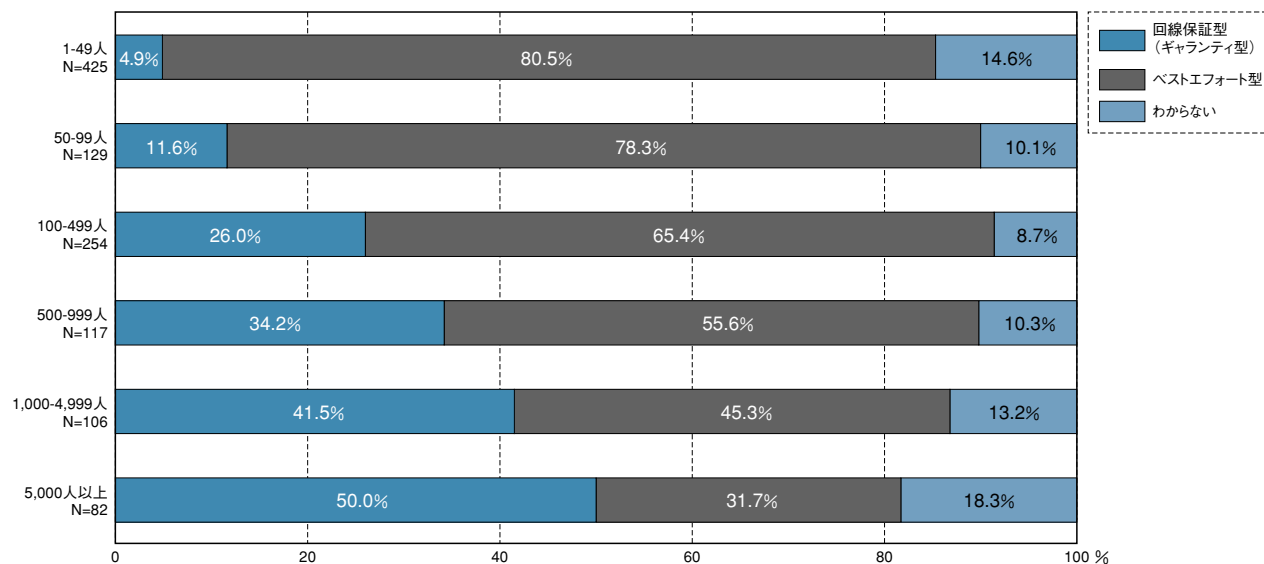


契約回線の種別では、昨年と同様の傾向がみられ、「ベストエフォート型」の支持率が67.2%と高い。ISPの選択理由で「料金の安さ」がトップにあげられていたことから、価格を優先していることがわかる。

©Access Media/ impress,2005

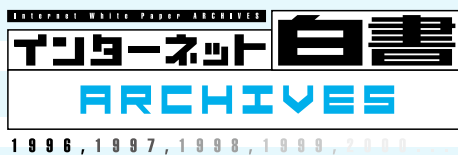
大規模になるほど回線保証型の導入が増加

資料3-1-17 従業員規模別 契約回線の種別 (ベストエフォートとギャランティ)



従業員規模別では、規模が大きくなるにつれて「ギャランティ型」(回線保証型)を導入している企業が多い。これは、大規模企業では製造業やサービス業が多く、インターネット業務において、ある程度保証された速度やサポート体制を必要とされるためであると推測される。

©Access Media/ impress,2005



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp